
県北・相双方部ソーシャルワークセミナー開催要領
「能登半島地震支援と東日本大震災支援から今後の自然災害時の支援を考える。」
～災害時のソーシャルワーク活動を考える～

1. 趣 旨

2024年元日に発生した能登半島地震は、半島地形の特殊性や道路の寸断、発生時期等様々な要因が重なり、関係者の必死な支援活動が続いていますが、今までの災害以上に時間を要する支援が続いています。

また、東日本大震災から13年が経過しましたが、私たち福祉、医療、行政関係者等は、広範囲の支援や原子力災害による全町村避難のための長期的支援にあたっています。

この度、能登半島地震支援を経験した学生やソーシャルワーカーからの発表やこれまでの福島県での支援経験をもとに、今後起こり得る自然災害の際の「高齢者や障がい者、子ども等含めた住民の生活支援」にスポットをあてて、私たちができることを考えます。

2. 主 催 福島県医療ソーシャルワーカー協会県北方部
福島県精神保健福祉士会県北・相双方部
福島県社会福祉士会県北方部

3. 日 時 2024年6月8日（土） 13:30～16:15

4. 会 場 福島大学 講義棟 1階 M-1
福島市金谷川1 TEL024-548-8021

5. 定 員 80名（定員になり次第締め切ります。）

6. 参加費 1,000円（当日、ご持参ください。）学生は無料。

7. 参加対象者

福祉に関心のある住民、学生、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員、相談支援事業所職員、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士、児童・障がい・高齢福祉関係職員、福祉施設職員、県・市町村行政福祉関係職員、社会福祉協議会職員、医療・保健関係者

8. お申込・お問合せ先

<https://forms.gle/PYE59D1R1NhFNYzx5> にアクセスして、申込 Google フォームに必要事項を記入の上、2024年5月31日（金）までにお申込みください。こちらのQRコードをスマートフォンで読み取って申込みすることもできます。Google フォームにアクセスできない場合は、所属、名前、メールアドレス、電話番号をメールで下記宛て送付ください。



※申し込み後、申込された方に自動確認メールが届くように設定しますので、届かない場合は、メールアドレス誤記入の可能性がありますので、再度申込み下さい。

福島県社会福祉士会・福島県精神保健福祉士会（担当：安達） TEL090-7320-2668 メール sw.kennpoku@gmail.com
--

9. 個人情報の取扱について

本セミナーにおいて参加申込に記載された個人情報は、運営に関する目的にのみ利用します。

10. 留意事項

地震や台風等により中止や延期とする場合がありますので予めご了承ください。なお、中止等の決定はメールでお知らせしますのでご確認ください。

11. プログラム

時 間	内 容・講 師
13:15~13:30	開場
13:30~13:35	開会・オリエンテーション
13:35~14:20	【基調講演】 「福島県における災害時のソーシャルワーク活動を考える」 郡山女子大学 准教授 島野光正 氏 (福島県広域災害福祉支援ネットワーク協議会会長)
14:20~14:30	【休憩】
14:30~16:10	【シンポジウム】 「能登半島地震支援と東日本大震災支援から今後の自然災害時の支援を考える」 シンポジスト 「災害ボランティアセンター運営及び社会福祉協議会の支援から住民の生活支援を考える」 福島県社会福祉協議会 地域福祉部自立支援課 安達弘和 氏 「災害ボランティア活動から、住民に必要な支援を考える」 福島大学 福島大学災害ボランティアセンター学生 (予定) 「災害時におけるソーシャルワーカーの役割を考える」 福島赤十字病院 地域医療連携室 ソーシャルワーカー 菅野直樹 氏 (日本精神保健福祉士協会災害支援体制整備・復興支援委員会副委員長) 助言者 郡山女子大学 准教授 島野光正 氏 コーディネーター サービス付き高齢者向けひだまり 松崎暁世 氏
16:10	閉会